

市長コラム

～未来への架け橋～

Vol.20



3年ぶりの開催となった五所川原立佞武多は、感染対策に配慮しながらも、成功裏に終えることができました。特に今回は「親子de立佞武多2022」に連日100人を超える参加をいただき、子どもたちのはつらつとした掛け声と弾ける笑顔は、中型立佞武多「金太郎」、「桃太郎電鉄」とともに、まつりの主役の一つとして輝いていました。参加いただいた皆さん、市民の皆さん、観覧いただいた皆さんに心より感謝を申し上げます。

★災害への備えをお願いします！

8月、停滞する前線の影響により、本県や秋田県を中心に記録的な豪雨に見舞われ、各地で緊急安全確保や避難指示が発令されたほか、家屋の浸水や道路冠水、土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。

当市においても、河川の水位上昇や土砂災害の危険性が高まったことから避難指示を発令し、また、家屋への浸水、道路冠水、農作物や農業施設等への被害が確認されました。人的被害はありませんでしたが、自然災害の脅威を改めて実感したところです。

被害に遭われた方にお見舞い申し上げますとともに、迅速な災害対応に当たっていただいた消防団の方々には心から敬意と感謝を申し上げます。

災害は予期せず発生し、時としてわれわれの予想を超えた脅威をもたらします。「自らのいのちは自ら守る」を常に心掛け、日頃から不測の事態への準備をよろしく願います。

★菊ヶ丘運動公園の目指す姿

現在、菊ヶ丘運動公園は、大型複合遊具等の設置工事のため、長期にわたり利用者の皆さんにご不便をお掛けしておりますが、今年度中に工事を終え、来春にはより魅力ある公園としてリニューアルするため準備を進めています。

さて、私の構想になりますが、菊ヶ丘運動公園については、目指す姿を明確にして、隣接する図書館を含めた一体

的な公園エリアの形成が必要であると思っています。

図書館について、子ども専用スペースを拡充するほか、よりオープンな雰囲気、子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄り、くつろげる空間づくりにコンセプトを転換し、さらに、園内を流れるせせらぎや花菖蒲などの魅力ある資源を生かしながら、子どもたちの遊び場はもちろん、市民の憩いの場づくりのため、再整備に向けた計画を模索していきたいと考えています。

★地域の安全、安心を守る防犯対策を進めます！

市では、五所川原地区防犯協会(会長：五所川原市長)が主体となり、市内各所に防犯カメラの設置を進めており、今年度末までに設置台数は17台となる予定です。

地域の防犯、安全や安心を守るため、防犯カメラの計画的な設置は不可欠であり、特に、子どもたちが集う公園、通学路の交通危険地帯に設置しなければならないと考えています。

設置にあたっては、その有用性のみならずプライバシーの保護に配慮する必要もあることから、場所の選定には一定の制限があるものの、五所川原地区防犯協会と協力連携のもと、防犯カメラの設置を計画的に進めていきたいと考えています。

★「キッズフェスタ2022 in 五所川原」開催！

9月11日に市内の子育て支援団体が連携して、中央公民館および市民学習情報センターを会場に、子どもたちのための祭典「キッズフェスタ2022 in 五所川原」が開催されます。両会場で14のブースが設けられ、遊びや学びに資するさまざまなコーナーや催しが予定されています。

このフェスティバルが、一堂に会した子育て団体等の自主活動を紹介、披露することで、各団体の活性化へとつながり、そして、多くの子どもたち、子育て世代にとって楽しみながら交流を深める機会となることを期待しています(3ページ掲載)。



『五所川原立佞武多「親子de立佞武多」』の様子



「family cafe あづま〜る」主催『市長との懇談会』の様子